

間取りの変更を最小限に抑えて、築60年の家をローコストで性能向上させた好例。広縁の木製建具と断熱サッシの関係は、生活の質を上げる良い判断。残した下がり壁やサッシ他の色揃えにも成功し、床の杉材や配置替えしたキッチンとも良い調和が生まれている。



▲ 壁付キッチンを前に出し対面キッチンに変更。背面には大容量の収納を追加し、手早く片付けられる状態にしました。存在感ある漆塗りのカウンターは、既存の柱、新たな家具とも調和し全体をまとめるインテリアのポイントに。天井の高さ、庭を一望するワイドスパンのサッシでとても開放感あふれる空間となりました。



before ①



before ②



before ③



after ②

押入れや下がり壁の形はそのまま残し、柱や鴨居はアク抜きや塗り直したりして色調を揃えました。家具とも見事に調和しています。今は作れない貴重な型ガラスはできるだけ残しています。



after ③



after ④



after ⑤

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

【動機】夫婦それぞれの実家に近く、立地が決め手で選んだ家は築60年以上。傷みも多く快適に住めるようになるか不安でしたが、建物の持つ時代の雰囲気できるだけ残して暮らしたいとのご要望。

【工夫点】①広縁外側のネジ締め釘の木製建具の雰囲気を残したいと金属サッシに替えるのはやめ、広縁から室内に入る障子部分に枠を設け複層ガラスのサッシを設置。防犯と断熱の問題を解決しました。

②補修箇所が多く、費用を抑える為間取り変更は最小限に。キッチンで1mだけ動かして対面にし、外水栓を使ってキッチン横の広縁に洗濯機

置場を新設しました。

【向上のポイント】1階床部分は根太からやり換えて断熱材を完備。天井にも十分な断熱材を入れ冷暖房効率を高めています。DK部分は無塗装の杉の無垢材を施工。施主自ら蜜蝋ワックスで仕上げています。悩んでいたキッチンカウンターの仕上げは知人の漆職人に依頼することで決定。堅牢で使い込むほどに艶が増し、経年変化が楽しみです。

【施主の感想】所々残る障子の意匠が素敵で時代感に合わせて照明を選定。艶色の柱に合う家具も吟味。愛着のわく家になりました。

性能向上の特性
断熱性能、防犯性能

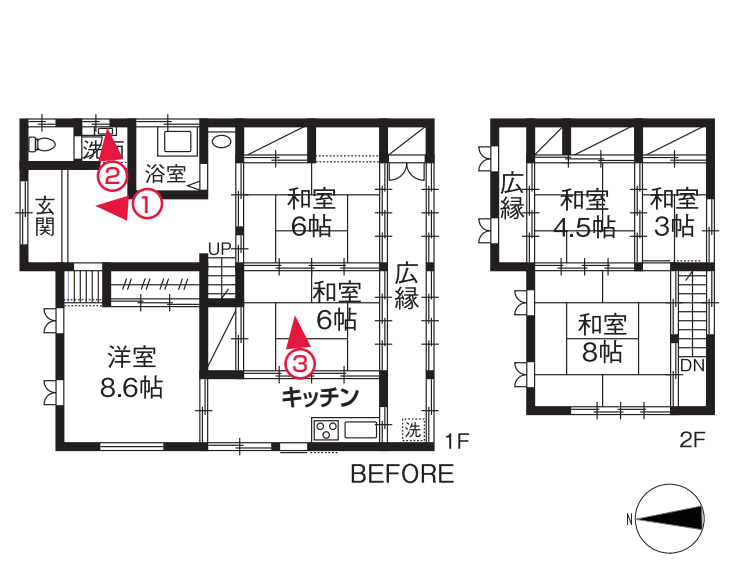
特に配慮した事項

丁寧に作られている建物の良さを残しつつ、現代の快適な生活を再現できるよう努めました。1.5間×2箇所の断熱サッシの位置は変則的ですが広縁をテラスのように使え、雨を気にせず洗濯物を干したりと家事にも活用していただけます。

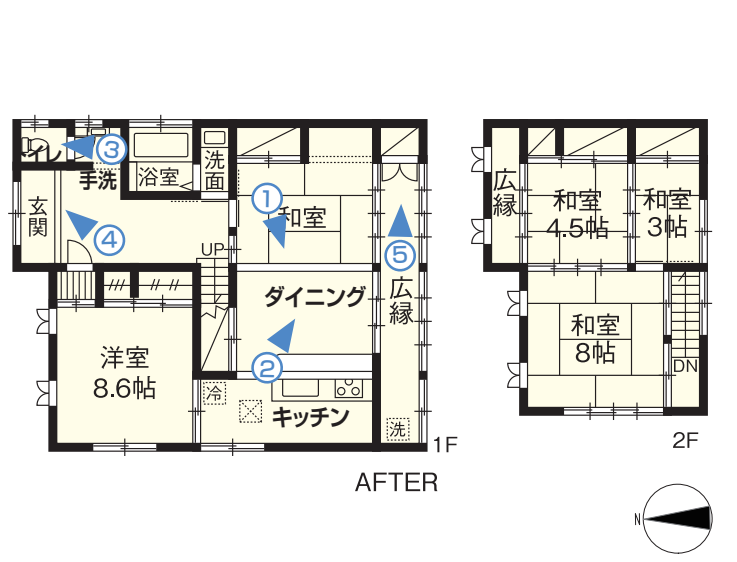
データ

所在地	神奈川県小田原市	新築竣工年	1957 年	築後年数	60 年	施工期間	30 日間
該当工事床面積	117㎡	総工事床面積	117㎡	該当部分工事費	560万円	総工事費	560万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：0人						

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □インテリア/ □マシン共用部分/ □その他